

公益財団法人盛岡市体育協会主催

平成 30 年度スポーツ講演会

『月とガスタंक』

～あなたの目標は何ですか？～

講師 まつ お かず ひこ
松 尾 和 彦 先生

一般社団法人岩手県バスケットボール協会副会長
岩手県立盛岡南高等学校校長

profile

昭和34（1959）年 盛岡市生。

県立高校教員として、県立軽米高校、県教育委員会事務局などを経て、現在、盛岡南高校校長。

専門はバスケットボール。全国高体連バスケットボール常任委員、東北高体連バスケットボール部長、県高体連バスケットボール専門部長等歴任。併せて県バスケットボール協会の要職を歴任し、現在（一社）岩手県バスケットボール協会副会長。

東日本大震災直後の北東北インターハイの競技担当として、青森、秋田及び全国高体連との連絡調整に奔走し大会を成功に導き、全国高体連研究大会において「東日本大震災と岩手県高体連」をテーマに北東北インターハイへの取組みについて発表。

国体正式競技はすべて観戦・応援したことがあるほど、こよなくスポーツを愛する。

(公財) 盛岡市体育協会 スポーツ講演会

東日本大震災津波の当時、南三陸町志津川病院で奮闘していた医師の菅野武氏の「寄り添い支える」から次の言葉を引用させていただきました。

月とガスタンク

雲の無い満月の夜に、大きなまあいガスタンクの前に立っている。

目の前のガスタンクも、遠くの空にある満月も同じように丸い。

一見、手前のガスタンクはとても大きく感じるが、実際は遠くの空に浮かぶ月の方がはるかに大きい。

人生において、自らの目の前にはガスタンクのように大きく見える問題や課題が日々絶えないが、そればかり気を取られていてはならない。

真に自分の目指すべき目標、生き方としての「月」を心に抱いて見据えておかななくてはならない。

月というのは自分自身の人生をどう生きたいか、という信念であり、それがしっかりしていれば人生を歩むに当たって自分の進むべき道を照らしてくれる。

月を探すこと自体が人生を楽しむことであるし、見つけたらそれを大切に、いつも思い描くことだけで素晴らしい人生になる。

○職 歴

- ・昭和 60 年度～ 岩手県立高等学校「教員」
(県立軽米・一関第二・盛岡工業高等学校) 勤務
 - ・平成 19～22 年度 県教育委員会「スポーツ健康課」勤務 (体育・スポーツ担当)
(国体・選手強化担当)(スポーツ医・科学担当)(全国高校総体・国体担当)
 - ・平成 23～25 年度 県立盛岡第三高等学校「副校長」
高体連「理事長」
 - ・平成 26～27 年度 県立水沢農業高等学校「校長」
高体連馬術専門部「部長」
 - ・平成 27 年度～ 高体連バスケットボール専門部「部長」
 - ・平成 27～28 年度 高体連ボクシング専門部「副部長」
 - ・平成 28～29 年度 県立雫石高等学校「校長」
高体連ボート専門部「副部長」
 - ・平成 30 年度～ 県立盛岡南高等学校「校長」
高体連スキー専門部「部長」
- ～現在に至る

○バスケットボール協会経歴 <部活動での指導、国体でのコーチのほか、協会での職>

- ・平成 5～12 年度 岩手県バスケットボール協会常任理事
- ・平成 13～18 年度 岩手県バスケットボール協会理事長
- ・平成 27 年度 岩手県バスケットボール協会副会長
- ・平成 28～29 年度 一般社団法人岩手県バスケットボール協会常務理事
- ・平成 30 年度～ 一般社団法人岩手県バスケットボール協会副会長